

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公開番号】特開2011-234352(P2011-234352A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-82727(P2011-82727)

【国際特許分類】

H 03 K 23/44 (2006.01)

H 01 L 21/20 (2006.01)

H 01 L 29/786 (2006.01)

【F I】

H 03 K 23/44

H 01 L 21/20

H 01 L 29/78 6 1 8 B

H 01 L 29/78 6 1 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月10日(2014.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の回路と、第2の回路と、を有し、

前記第1の回路は、第1のクロック信号及び第2のクロック信号に対応して、2X個(Xは2以上の自然数)のパルス信号を出力する機能を有し、

前記第2の回路は、前記2X個のパルス信号に対応して、前記第1のクロック信号の周期のX倍の周期である第3のクロック信号を出力する機能を有し、

前記第2の回路は、X個の第1のトランジスタと、X個の第2のトランジスタと、を有し、

前記X個の第1のトランジスタ及び前記X個の第2のトランジスタは、チャネル形成層としての機能を有する酸化物半導体を含み、

前記酸化物半導体のキャリア濃度は、 $1 \times 10^{14} / cm^3$ 未満の領域を有し、

前記X個の第1のトランジスタのゲートには、前記2X個のパルス信号における1個目乃至X個目のパルス信号のうち、互いに異なるパルス信号が入力され、

前記X個の第1のトランジスタはそれぞれ、前記第3のクロック信号の電位を第1の電位に設定するか否かを制御する機能を有し、

前記X個の第2のトランジスタのゲートには、前記2X個のパルス信号における(X+1)個目乃至2X個目のパルス信号のうち、互いに異なるパルス信号が入力され、

前記X個の第2のトランジスタはそれぞれ、前記第3のクロック信号の電位を第2の電位に設定するか否かを制御する機能を有することを特徴とする分周回路。